

2011年8月18日(木)

第214号

地域と人の 脈 を目指して

○：地域活性化のため、される。紅茶教室やセラピーなど、着任1カ月で数々の企画を実現。豊富なアイデアと高い実行力で、周囲の繋がりが薄くなっていることを実感。地域密着型の仕事に興味を持ち、会社

人物風土記

題字は
林文子 横浜市長



●和田町のコミュニティカフェ「わか」で7月から店長を勤める

山崎 真沙子さん

横浜市在住

勤めの傍ら、市内のコミュニティカフェでボランティアを始め、「いつか自分も店を」という夢を抱いていた頃、新店长募集の話が来た。もともと先のもりだったけど、今がチャンスかもしれない。そう感じ、思い切って会社を辞めた。

○：まちづくりの場として近年増え始めているコミュニティカフェだが、その多くは助成金やボランティアで成り立っているのが現状。「誰かの負担だけに頼ってはいけません。この店は、イベントや商品だけのビジネスとしてもちゃんとして成功させたい」と強い意志を見せる。その目標を現するため、様々な企画を持ち出して、集客に力を入れている。「地域の名産品が手に入る道の駅にしたい」との思いから始めた地元野菜の販売は好評で、売り切

○：ここを中心に地域が広がる、そんな場になったら」と期待に目を輝かせる。明るく元気な性格で訪れる人も自然と笑顔に取材中も店にはひっきりなしに人が出入りし、初対面の人どうしが彼女を通して出会い、打ち解けていく。店に多くの人が集まるのには、イベントや商品だけの力ではなさそうだ。「どれどと成功させたい」と強い意志を見せる。その目標を現するため、様々な企画を持ち出して、集客に力を入れている。「地域の名産品が手に入る道の駅にしたい」との思いから始めた地元野菜の販売は好評で、売り切